

廃水処理性の良い蛍光浸透液

主な特長

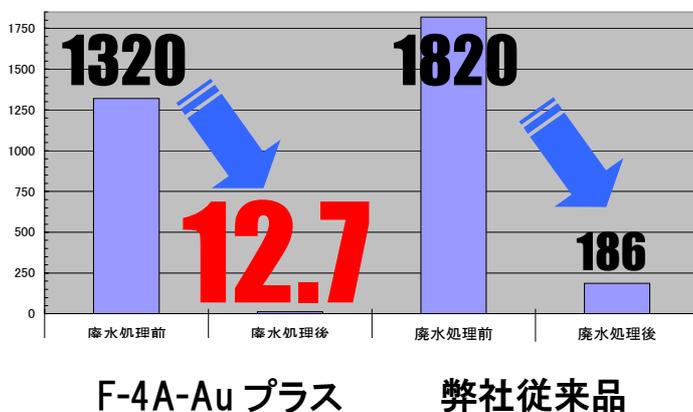
- 高濃度の浸透探傷廃水でも廃水処理が可能です。
- 高い温度でも水洗が可能です。
- 粘性が低いため、浸透液の持ち出しも少なくなります。
- 改正 PRTR 法・有機則非該当、RoHS/ELV 指令に適合しています。
- 鋳造品、素材、機械部品の探傷に最適です。

この浸透液は、探傷廃水の泡立ちが少なく、また探傷廃水の廃水処理が高濃度でも容易に処理が出来る特徴を持つ水洗性蛍光浸透液です。

また、一般的な水洗性浸透液では、50℃を超える温度での水洗は難しくなりますが、この浸透液は、検査対象物や洗浄水の温度が高くても探傷が可能のため、素材の探傷や鍛鋳造品、機械部品の探傷に最適です。

廃水処理データ

廃水処理試験による COD 値の変化(mg/l)



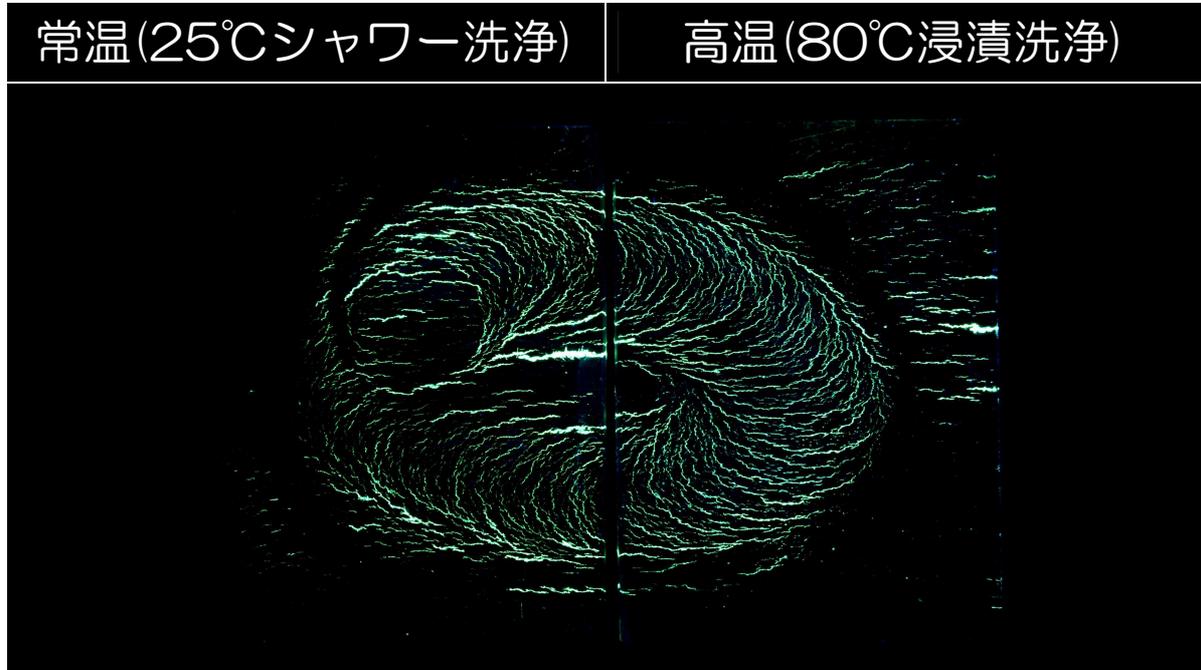
(mg/l)	F-4A-Au プラス		(参考) 弊社従来品	
	処理前	処理後	処理前	処理後
COD	1320	12.7	1820	186
BOD	1360	18.2	1990	261
N-HEX	332	1.0 未満	808	4.8

あしたへ続く信頼のために

性状

	密度(g/cm ³)	引火点 (消防法分類)	粘度(cSt) (38°C)	改正 PRTR 法 有機中毒予防規則	RoHS/ELV 指令
F-4A-Au プラス 備考	0.89	80°C以上 第3石油類 非水溶性	4.1	非該当	適合

[JIS Z 2343-3:2001 タイプ 3 試験片によるきず浸透指示模様の比較]



取扱上の注意事項

①使用上の注意

- 吸入飲用不可：人体に害が有りますので、飲んだりしないで下さい。
- すべての安全注意(MSDS 等)を読み理解するまでは取り扱わないこと。
- 人体に使用しないで下さい。
- 子供の手の届かない場所に置いてください。
- 皮膚の弱い人は肌が荒れる恐れがありますので、保護手袋を使用してください。
- 必要に応じて、防毒マスク・保護メガネ等の保護具を着用してください。

②応急処置

- 万一飲んだ場合は、直ちに医師の診察を受けてください。
- 過って眼に入った場合や皮膚に付着した場合には、清水で十分に洗い流し、異常があれば医師の診察を受けてください。
- 作業中に気分が悪くなった場合は、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診断を受けてください。

③保管及び廃棄方法

- 保管の際は密栓し、直射日光の当たる場所、水のかかる場所、40°C以上になる場所、さびの発生しやすい場所に置かないで下さい。
- 廃棄の際は、中身を使い切ってから捨ててください。

*詳細な内容が必要な場合は、製品安全データシート(MSDS)及び取扱説明書をご参照ください。

※改良の為予告なしに仕様を変更する場合があります。

あしたへ続く信頼のために

栄進化学株式会社

本社	〒105-0021	東京都港区東新橋 1-2-13 川岸会館	TEL 03-3573-4235	FAX 03-3573-4230
茨城工場	〒303-0043	茨城県常総市内守谷町 4689-1	TEL 0297-27 9507	FAX 0297-27-9508
開発技術センター	〒277-0871	千葉県柏市若柴 6-283	TEL 04-7131-0911	FAX 04-7131-5799
東日本営業所	〒277-0871	千葉県柏市若柴 6-283	TEL 04-7131-5674	FAX 04-7131-5799
川崎営業所	〒210-0805	神奈川県川崎市川崎区伊勢町 13-5	TEL 044-233-4351	FAX 044-233-5295
名古屋営業所	〒464-0858	愛知県名古屋市中区千種 3-28-14	TEL 052-741-8851	FAX 052-741-8867
大阪営業所	〒536-0016	大阪府大阪市城東区蒲生 2-3-30	TEL 06-6931-9058	FAX 06-6931-1705
広島営業所	〒730-0047	広島県広島市中区平野町 3-33 川岸ビル	TEL 082-243-1532	FAX 082-243-1598

※茨城工場は、ISO 9001:2008 を認証取得